



Weekly report

例会日 第一・第三木曜 12:20-13:30
 事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄1-22-16ミナミ栄ビル402
 例会場 TEL 052-253-7821/FAX 052-253-7820
 ホテルナゴヤキャッスルホテル TEL 052-521-2121
 〒451-8551 名古屋市中区栄1-22-16



第47回例会

2018年11月1日(木)

司会進行 鈴木達央 会場運営委員
 「君が代」斉唱、「四つのテスト」唱和

会長挨拶

奥村 与幸 会長



皆さん、こんにちは。今日は、視点を変えた職業奉仕のお話をします。今日のお話は、ロータリーの経験の長い先輩方には、恐らく有名な方だと思いますが、深川純一さんと言う伊丹ロータリークラブに所属される方で、第268地区のガバナーや地区大会RI会長代理を8回も務められた方のお話を引用させていただきました。

今日のお話の主人公は、ハーバード・テイラー氏です。この方は、1954-55年度RI会長を務められた方で、「四つのテスト(The 4-Way Test)」の創案者です。まずは、「四つのテスト」から始めていきます。「四つのテスト」=「The 4-Way Test」、なにか変だと思いませんか？何故、Testが単数なのでしょう？「Test」ではなく「Tests」なのでは？でも、実は単数であることが、ロータリーのこだわりのようです。四つのテストを1つずつクリアすればよいのではなく、四つのテストを一つの基準として、全てを一括でクリアしなければならぬことを示しているので単数としているそうです。

始めに、以前お話した、シェルドン氏が提唱した「最も奉仕する者、最も多く報いられる」=「He profits most who serves best」でも解るように、日本語だけの解釈では本来の意味を理解しづらいこともあるので、今回も英語からのアプローチをしたいと思えます。

「四つのテスト」

・「真実かどうか？」=「Is it the truth?」

これは、英語=日本語ですね。

・「みんなに公平か？」=「Is it fair to all concerned?」

これは日本語では「concerned」の訳が抜けています。「concern」=「心配」「利害関係」「会社」なので、この場合は「取引先」と考えるのだと思います。すると「全ての取引先に対して公正かどうか？」というのが詳しい意味ではないのでしょうか。

・「好意と友情を深めるか？」=「Will it build goodwill and better friendship?」

これは、英語=日本語のように思えるのですが、「goodwill」=単なる「好意」ではなく、商取引における「信用」と訳し「その商取引が、店の信用を高め、取引先との良い人間関係を築けるのか？」と訳したらわかりやすいと思うのですが。

・「みんなのためになるかどうか？」=「Will it be beneficial to all concerned?」
 これは、これまでの3つのテストと異なり、英語=日本語ではないように思います。それは、「beneficial」→「benefit」=「利益」「儲け」です。従って「全ての取引先の利益になるのか？」と訳すのでは？と考えます。ここでも、近江商人の「三方よし」と考えても良いかもしれませんが、しかし、原語である英語では、ロータリアンは「profit」・「benefit」=「儲け」「利益」をよく使うと思いませんか。以上が四つのテストについてでした。

ここからは、ハーバード・テイラー氏のエピソードです。ハーバード・テイラーは、1932年に倒産したアルミ食器会社の再建を引き受けた際に、社内に「四つのテスト」を示して、企業活動を行い、約10年後には、一流の企業に育てたそうです。その後、彼が1954年にRI会長に就任した時に、その著作権がロータリーに譲渡され、世界各国で翻訳、活用されて今日に至っています。そこで、アルミ食器会社でのエピソードを紹介いたします。

その前に、私の会社は小さなテレビ局であり、キャスター・アナウンサー、テレビカメラを扱う人材などで構成する収録・編成制作を行う部門があります。ここから先のパワーポイントは、その編成制作部門出身の社員が作ってくれました。

ある日、ハーバード・テイラーは、印刷会社と契約をしました。ところが、印刷会社社員は会社へ帰ってから、自分の計算ミスによって、この契約では大変な損をすることに気がつきました。今更、契約変更を申し込める筋合いのことではありませんが、このまま損をすることがわかっていながら、良い仕事ができる自信もありません。そこで、印刷会社社員は、「断られてもやむなし」と考えながらも、契約のやり直しを申し入れました。ハーバード・テイラーは、「なるほど、それは気の毒なことだ。しかし、契約が済んでしまった案件なので、自分一人では決めない。取締役会に付議しよう。」と印刷会社に社員に伝えました。取締役会では、「この契約は、印刷会社の提示価格で契約した。契約は適正であり、契約価格に間違いがあったか否かは、当社の関知しないところである。従って、契約は守ってもべきである。」との意見が大勢を占めました。しかし、ハーバード・テイラーは、「我々は、四つのテストを誓い合っている。」「この契約の真実とは何か？この契約は、相手の真実の意思に基づいたものではない。このことが、公平な契約といえるのか？当社の信用を高め、取引先との良好な人間関係を築くことになるのか？全ての取引先の利益に繋がるのか？」との論法で取締役会メンバーを説得しました。そして、印刷会社が損をしない程度の契約価格で再契約をしました。このことが、口コミで広がり、ハーバード・テイラーの会社への信用が確立しテイラーの会社との取引を望む会社が増えていきました。これは、「自分が儲けるために、取引先を泣かせてはならないこと」「利益は、全ての取引先に適正に分配されるもの」の実践例とのことであり、その結果として、ハーバード・テイラーの

アルミ食器会社は利益を上げ、一流企業になったのです。通常であれば、以上「めでたし、めでたし」でお話を終えるのですが、この話を進める中で私は、なぜか「すっきり」としないのを感じるのです。それは、長期的にこの取引先である印刷会社のことを考えると、本当に相手のためになったのか？との疑問が生じるからです。なぜかと言うと、「契約は商行為の重要な行為」であるはず。その「重要な契約を間違えた」で済ませてよいのか。これでは「同じ間違いを繰り返す」のではないのか。仮に、配慮するとしても、まずはこの結果を受け止めてもらい、次の取引で配慮したほうが良いのではないかと考えるからです。皆さんは、どう考えますか？

以上で、本日の会長挨拶といたします。本日もご清聴頂き有難うございました。

出席報告		浅野慎之 出席委員長	
	会員数	出席数	出席率
当日(11/1)	46	35	76.1%
前回(10/18)	46	29	63.0%
	会員数	修正出席数	修正出席率
前回(10/18)	46	46	100.0%

ニコボックス報告

本日、財団の卓話で伺いました。宜しくお申し込み申し上げます。

地区ロータリー財団補助金委員会 委員 名古屋名東RC 藤野直子 様

10月26日でスイート10を迎えました。妻に感謝致します。

本日23回目の結婚記念日です。妻に感謝です。

明日、子どものB.D.6才になります。

長男が剣道2段合格しました。

RCC委員会でお世話になりました。

11月になりました。1年過ぎるの早いんですね！！

WFF大盛況でした。おめでとうございます。西三河中分区のうずら卵といちご羊羹おいしかったです！

WFF盛況でよかったです。

ロータリー財団 藤野さんをお迎えして。

ロータリー財団 藤野さんをお迎えして!!

そして鈴木委員長いつもお世話になっております。

これからよろしくお願ひ致します。

10月6日に母が69歳で亡くなりました。3連休でもあったので、家族葬でした。前回の定例会、欠席してすみませんでした。

バッチ忘れました!!

10月・11月のブライダルシーズン体につけてのりきります。

年はとりたくない…。

第47回例会を祝して

浅野信 出口茂 権田淳裕 長谷川裕一 樋口昌男 河合秀紀 清訓芳 牧野敬充 大野将義 佐野洋一郎 鈴木達央 田中吉彦 山下智己

R情報委員会より報告 近藤大輔 R情報委員
 ~「ロータリーの友」おすすめページ~

【P4~8】「児童虐待の実情」
 日本でも保護されるべき子供が保護されていない、と書かれており、その中でもP71下部の「虐待は男性、父親によるもの、というのが一般的ですが、虐待を行う当事者は現在、母親が主なのです。」という部分が一番印象的でした。そこで、ロータリアンに期待されることは「社会的相続を行う組織であってほしい、社会的相続とは、日本の伝統文化、地域が育んできた文化を子どもたちに継承していくこと」

とあります。また、本冊子には記載されておりませんが子ども食堂というものが国内に2,000箇所以上あります。子どもに食事や触れ合う場を提供している施設ですが、当社も支援しております。皆さまにもそのような場があることを知っていただければと思います。



幹事報告

鈴木拓将 幹事

●11月ロータリーレート 1\$ = 112円

●先週末WFFが開催されました。参加された方ありがとうございました。

●来週末11/10(土)・11(日)に地区大会、一泊研修会が行われます。10日(土)18時より蒲郡の小城(こしろ)にて宴会を行います。宴会場、ホテルの詳細は事務局よりメールにてご案内申し上げます。

●1/31(木)職場見学の出欠回答期日が昨日となっております。未回答の方はご回答お願ひ申し上げます。

●本日例会後に第5回定例理事会が開催されます。

●次回例会11/15(木)12:20~13:30@ホテルナゴヤキャッスル1階「シャンボールの間」。例会後は第3回クラブアッセンブリーを開催する予定です。

卓話「ロータリー財団 今、やるべきこと」

地区ロータリー財団補助金委員会 委員 藤野直子氏



皆様、改めましてこんにちは。

本日は貴重なお時間に卓話させて頂き、高い席からではございますが感謝申し上げます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

本日は「ロータリー財団、今やるべきこと」と題してお話しますが、まずはDVDをご覧ください。

(DVD上映)

今、ご覧頂いたDVDは皆様にポリオのことをご理解いただく為のものですが、実はロータリーが作成したのではなく、ユニセフとWHOがロータリーに感謝する為に作成したものでございます。私はそのことにとっても大きな意味があると思えます。DVDにもあったようにポリオワーカーが遠くの紛争地域へポリオワクチンを届ける為に

まだまだ資金を必要としております。このように、本日は皆様に、なぜ資金が必要であるかを深くご理解頂ける場となれば幸いです。

昨年度は貴クラブより82.69 \$ /1人の年次寄付を頂戴しました。ありがとうございました。実は、ポリオ・年次寄付含めて180 \$ /1人の目標をお願いしておりました。当年度はぜひ目標に達していただくと嬉しく思います。

ロータリー財団にはたくさんの委員会があり、30分でお話できるようなものではない為、簡単な触りとポリオ撲滅の必要性、ロータリーカードの重要性を本日はご説明させて頂きます。

地区のロータリー財団は資金管理委員会、資金推進委員会、補助金委員会、ポリオ・プラス/職業研修チーム委員会、奨学基金・平和フェロシップ委員会という5つの委員会で構成されております。

・資金管理委員会

はじめに、補助金は公金でございます。補助金申請時はMOU(覚書)を交わします。そこには会長と会長エレクトの署名を頂戴しますが、是非とも内容をよくご理解いただいた上で頂戴できればと思います。なぜなら、地区だけでなくRIが規定しており、もしひとつのクラブで何かミスや問題があると地区全体が補助金を使用できなくなってしまう。入口でこのようなお話をしてお話をして大変恐縮ですが、補助金は公金であることを念頭において頂き、MOUを交わして頂きたいと思っております。補助金は3年前の年次基金と恒久基金の利息分を使用することになっております。

・資金推進委員会

その名のとおり資金を皆様より頂戴したい、推進したいという委員会でございます。やはり奉仕をするには資金が必要です。ロータリアンがご寄付くださる年次寄付が一番身近な補助金となって3年後に地区に戻ってくるということをご理解頂きたいと思っております。寄付金を募る方法はクラブによって様々ですが、私の所属クラブでは年会費に含まれております。貴クラブでもどのように集めたらよいかなどお考え頂ければと思います。また、当年度はポリオプラス基金に30 \$ /1人(年次基金と併せて180 \$ /1人)をお願いしております。この30 \$ /1人が世界中の小児麻痺の子どもたちをなくす活動に役立ちます。是非ご協力頂ければと存じます。

【年次基金】は、6つの重点分野について使用されるものです。【恒久基金】は、未来において持続可能なプロジェクトを実施するための財源となります。恒久基金と指定してご寄付頂くと、その元金は使用されず、利息分だけが3年後に戻って来るというシステムになっております。

そして、ポリオ・プラスについてですが、30 \$ /1人をお願いしたいのはポリオ撲滅活動を支援する為でございます。ワクチンは保冷された状態で運ばなければならない為、多くの資金を必要とします。

また、【ロータリーカード】についてですが、まだ浸透していないように思われます。カード会社はオリコで、スタンダードのものは年会費無料になっております。使用すると自動的に金額の0.3%がロータリー財団へ寄付されます。皆様が余分に支払うわけではない為、大変優れたカードになっております。法人名でビジネスカードに登録することもできます。そして、今ダイナースが熱心に進めているのが、クラブカードでございます。クラブの例会費などの支払いをこのクラブカードにして頂くと大変多額な寄付額になると思っております。是非貴クラブでもクラブカードを登録して使用して頂ければと思います。2016-17年度の実績になります。全国のロータリアンの皆様が17億2,000万円使用し、1051万円が自動的に寄付に回りました。

・補助金委員会

補助金の使い道についてアドバイスをする委員会でございます。是非申請していただければと思います。当年度すでに地区内で54件の申請がございました。3年前の年次基金、約2,000万円の補助金が戻ってきております。地区補助金は申請額と、同額以上の金額をクラブが用意し、その合計額の奉仕活動をしていただくものになっております。また、グローバル補助金についてですが、高額(300万円以上)の支援を計画していただきたいというシステムとなっております。クラブからの拠出金は不要ですが、2か国以上の国、もしくは地区が参加する奉仕活動であることが条件となります。ハードルが高そうに聞こえるかと存じますが、当地区では津島RC、大須RC、清須RC、半田RC、地区国際奉仕委員会などが6つの重点分野に則した活動しております。

・ポリオ・プラス/職業研修チーム委員会

小さなお子様がいらっしゃる方をご存知かと思いますが、名古屋市内は保健所から通知がきて2回ポリオワクチン摂取に行きます。私が小さなときには学校に1～2名小児麻痺に苦しんでいる方がいました。日本では1960年がピークだったそうです。その一年後、ソ連から生ワクチンがたくさん入り、全国一斉投与を実施された後、激減したと言われております。日本は一斉投与しないと意味がないという前例をつくりました。1985年にポリオ・プラス計画というものが発表され、ポリオの撲滅運動がロータリーで始まりました。そして2000年には99%までなくなりました。ところが、再流行した場合には毎年20万人のお子様が発症するだろうと言われております。アフガニスタンとパキスタンからポリオ撲滅した国へ感染が拡大する恐れは十分に残っております。これまでに総額110億\$の資金がかかっており、その内の15億\$はロータリーが拠出しております。それも水の泡になってしまいます。なんとか今年中に地球上からポリオを撲滅したいと活動しております。ただ大変悲しいことに2018年1月から現在までで小児麻痺のお様子が16名増えてしまっております。感染しても発症するのは200人～1000人に1人と言われております。ということは、16名の後ろにたくさんのお様が感染しているということになります。それをとにかくゼロにしなければ永遠に地球上からなくなならないし、今手を緩めてしまえば瞬間に増えてしまうのではないかとと言われております。職業研修チーム(VTT)というものがああります。これは2760地区のグローバル補助金を使った活動です。日本でも珍しい活動である為、当地区は大変熱心に活動していることが分かります。医療チームを派遣し合っております。例えば、名市大に来ていただき医療研修を行うなど、名市大の先生方には大変ご尽力頂いております。

・奨学基金・平和フェロシップ委員会

奨学基金について、当年度はすでに締め切っておりますが、次年度は是非、周りに奨学金を差し上げるのに相応しい若者がいらっしゃいましたら、申請をして頂きたいと思っております。例えば、海外の大学院に1～2年間留学する為の資金をお渡します。もちろん返金不要です。すでに大学病院で働いている先生が更に極める為に行かれるという例もございます。

平和フェロシップは、国境なき医師団や海外青年協力隊などで3年以上活動した方が世界中にある6つの大学へ留学し、更に紛争解決、平和について追及し、プロフェッショナルをつくる大変素晴らしいプログラムです。ほとんどの方がその後は国連に行かれたり、政府で働く、ジャーナリストになるなど、世界中で活躍しております。こちらも相応しい方がいらっしゃったら、是非ご紹介頂きたいと思っております。

特別支援学級(知的障害を持つお子様がいらっしゃる学級)で絵本の読み聞かせを行っております。絵本というのは、大人の心にも沁みるものがたくさんございます。ここで、一冊抜粋して紹介させていただきます。



ぼくがラーメンを食べるとき、となりでミケがあくびした。

となりでミケがあくびしたとき、となりのミッチャンがチャンネルかえた。

となりのミッチャンがチャンネルかえたとき、そのとなりの町の男の子がバットをふった。

そのとなりの町の男の子がバットをふったとき、となりの国の男の子が自転車をこいだ。

となりの国の男の子が自転車をこいだとき、そのとなりの国の女の子が赤ちゃんをおんぶした。

そのとなりの国の女の子が赤ちゃんをおんぶしたとき、そのまたとなりの国の女の子が水をくんだ。

そのまたとなりの国の女の子が水をくんだとき、そのまたとなりの国の男の子がうしをひいた。

そのまたとなりの国の男の子がうしをひいたとき、そのまた向こうの国の女の子がパンを食っていた。

そのまた向こうの国の女の子がパンを食っているとき、そのまた山の向こうの国で男の子が倒れていた。

風が吹いている 風が吹いている
そのとき風が吹いていた。

今、この瞬間にも日本でも世界中でも苦難な状況にある、たくさんのお子様やたくさんの人々がいらっしゃると思います。この絵本はロータリーカードにぴったりな絵本だと思っています。一番は家族と一緒に働いているスタッフを幸せにするために日々経済活動を行っております。ただ、今この瞬間にもどこかで苦しんでいる方たちのお役に立つには、このロータリーカードはぴったりだと思います。ロータリーの関係で食事をされた際、ゴルフをされた際など、ロータリーが関係する時だけでも結構ですので是非使ってください。私はこのロータリーカードを免罪符だと思っております。マザーテレサ氏のように全ての私利私欲を捨てることはできません。しかし、このカードを使うことによってロータリアンとして世界に役立つことができるのではないかと考えております。是非皆様には当年度180 \$ /1人のポリオと年次寄付、そしてロータリーカードの入会をお願い申し上げます。財団としての卓話とさせていただきます。皆様ご清聴、誠にありがとうございました。

地区ロータリー財団補助金委員会 委員
藤野 直子 様
お越しいただき、誠にありがとうございました。

第6回ワールドフード+ふれ愛フェスタ
～わっしょい太鼓祭実行委員会出演～



参加された皆さま、お疲れさまでした！！

次回例会【第49回通常例会】

日 時： 12月6日(木) 12時20分～13時30分
会 場： ホテルナゴヤキャッスル3階「萩の間」
卓 話： 「健康・ダイエットについて」
卓話者： 甲村 隆一朗 氏
例会後： 第6回定例理事会